



学校だより 真砂

新潟市立真砂小学校

6月号

令和4年6月22日 発行

■多くの大人に見守られて

校長 土田 亮

今月14日に海岸清掃を全校で行いました。今年で27回目となる伝統ある活動です。当日の様子はテレビのニュースでも放映されました。ご覧いただけただしょうか。



毎年一緒に活動してくださっている新潟海上保安部の皆様をはじめ、たくさんの保護者や地域の皆様からご参加いただきました。心より感謝申し上げます。

自分たちを見守り支えてくださる大人の方々とのかわりには、真砂っ子の学びをより豊かなものにしてきています。本当に有難いことです。

立命館アジア太平洋大学の学長で、歴史にも詳しい出口治明さんもおっしゃっていますが、地球上で最も支配的な種として繁栄してきた現生人類であるホモ・サピエンスは、家族が複数集まって集団をつくり、子どもと一緒に育てることで時代を生き延び、繁栄を続けてきました。

子どもたちは集団生活のなかで親以外の大人とかわり、自然の中で暮らすために必要な知恵を学び、社会性を身に付けました。

「周りの大人みんなが子育てに参加し、複数の大人で複数の子どもの面倒を見る」これは歴史から見ても、私たちの習性に合った本来の姿だと言えます。

コロナ禍によって社会全体に孤立や分断を感じることも時折ありますが、本校ではこれからも「人とのかわり」を大切にしたい教育を進めてまいります。



熱中症にいつそう注意が必要な時季になりました。熱中症になりやすい場面（登下校を含む屋外での活動、運動時など）ではマスクを外すよう働き掛けています。

また、マスクを外した際には十分な身体的距離を取ることや会話を控えることなど、感染症対策はこれまで同様に取り組んでまいります。お子様の健康管理に引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

